

令和6年2月19日

## 草政会視察研修報告書

草津市議会議長 山元宏和様

草政会会長 西田 剛

### 1. 視察研修の概要

#### (1) 日時

令和6年1月17日（水）～1月19日（金）

#### (2) 訪問先及び内容

令和6年1月17日（水） 長崎市・まちぶらプロジェクト視察

令和6年1月18日（木） 大村市・ミライ on 図書館

令和6年1月19日（金）「公共交通システムにおける高齢者及び福祉事業について」

### 2. 参加者

草政会 西田 剛、瀬川 裕海、伊吹 達郎、小野 元嗣、横江 政則、中島 美徳、  
遠藤 覚、井上 薫、服部 利比郎、田中 香治、福田 茂雄

### 3. 研修内容 別紙のとおり

## 令和6年1月17日（水）長崎市・まちぶらプロジェクト視察

報告者：草津市議会会派草政会 文責：福田茂雄

- (1) エリアの魅力づくり
  1. 食をテーマにした冊子の作成
  2. シャッターアート
- (2) 軸づくり
  1. 回遊路の整備
  2. 情報発信による人の誘導
  3. 公衆トイレの整備、店舗協力によるトイレの貸し出し、おもてなしトイレ
- (3) 地域力によるまちづくり（まちなか賑わいづくり活動支援事業）
  1. スタートアップ補助金
  2. 認定式には市長自らが行う。マスコミ媒体にも積極的に声掛け

### 質問①：「まちぶらプロジェクト」推進効果

(ア) 駅周辺の再整備、中心市街地の魅力掘り起こしを行うことで回遊を図られているかと思うが、実際に中心市街地の賑わいに繋がっているか？

(回答)本プロジェクトの3つの柱の一つに「エリアの魅力づくり」があり、それぞれのエリアごとの特色を活かしながらまちづくりに取り組んでいる。「まちなかの賑わいの創出」に対する指標の1つとして、1日当たりの歩行者通行量を設定している。まちぶらプロジェクトを実施することで、下降していた歩行者通行量が上昇に転じ、新型コロナが流行する前のR1年度までは、おおむね順調に増加傾向にあったが、通行量は目標値に達していなかった。しかし近年は、長崎駅周辺の再整備や新型コロナが5類に移行したことにより交流人口が増加していることから、今後は外出回数が回復していない市民の意識が変化することで歩行者通行量の増加を期待している。また、まちなかの地元の方々と協議した際に、まちづくりに参加するメンバーが増えてきたように感じる。まちが良い方向に変化しているなどの評価を受けているエリアもあり、これまでの取り組みが賑わいに繋がっていると考え

(イ) 活性化につながると現状と問題点・課題について

(回答) 長崎駅周辺の整備、長崎スタジアムシティ計画により、長崎駅周辺の交流人口が拡大しているが、まちなかの空き店舗が増加している等の課題がある。今後は拡大した交流人口をまちなか地区のみならず都心部全体に波及させ活性化に繋がるような取り組みの継続が必要。更なるまちなかエリア活性化には、多くの方々がイベントなどに参画しやすい環境を整えていくことも必要になるため、今後も交流会などを実施し、地域・認定事業者・エリア外のプレイヤーを繋ぎ、賑わい創出する仕組

み作りを継続していきたい。現在、今後のまちづくりに向けて都心まちづくり構想を作成中で、その後施策を実施し活性化に繋げていきたいと考えている。

#### 質問②：ブランド力について

(ア)本市でも既存商店街活性化は大きな問題となっている。個々の魅力創出につながるべきどのような取り組みが有効か？

(回答) 本プロジェクトの3つの柱の一つに「エリアの魅力づくり」があり、エリアマネジメントが重要だと考えています。各エリアがそれぞれテーマを持ち、1つの方向性に向かって魅力を高める取り組みを行っている。そのため、商店街に限った話ではなく、地域の方々がまちづくり協議会など、集まって協議をする場を設け、それぞれの地域の課題や周知事項の共有などを行っている。市役所の職員だけが取り組んで解決するのではなく、地域の方と一緒に取り組むことで魅力創出につながる新たなアイデアが出てきていると感じている。主役は市民や地域、行政は黒子として地域を支えることがポイントだと考える。

(イ)市街地再開発事業の効果について検証方法について

(回答) 新大工エリアでは、新大工町地区市街地再開発事業が令和4年の秋頃に開業し、1階～3階までが商業施設、4階～26階までが共同住宅の地域の核となる施設ができ1年が経過したが共同住宅の住戸は現在も販売中です。現在、人件費、物価が高騰し今後再開発事業を検討するのであれば、商業や住戸部分の必要な面積を適切に設定し、建築計画、資金計画を行う必要があるのではないかと考える。

効果の検証としては、歩行者通行量や地域の経済状況などが考えられるが、現段階では数字としての検証はできていない。しかし、再開発事業や周辺のマンションの建て替えにより、新大工エリアの人口が増加していることで今後は、活性化してと考える。また、再開発事業で整備した広場を使ったイベントの開催などを行っており、周辺への賑わいの波及も期待している。

#### 質問③：魅力発信について

(ア)長崎市でしか味わえない観光力（魅力）の発信方法について

(回答) まちなか事業推進室でも情報発信に取り組んでおり、マップの作製、長崎市公式SNSの利用、長崎市役所19階展望スペースの利用、各ホテル・駅でのマップ配布等を行っている。

質問④：長崎市では近年、高層マンションの増加による周辺環境への影響やコミュニティの希薄化、歴史的景観との調和問題、中心商業地の活力低下が深刻になっているが、本市でも規模は違うが同じ現象が発生している。

長崎市がそもそもまちブラプロジェクトを導入されるにあたり、

- A) 改善を図りたかった点、それをどのような経過で運営されてきたのか？
- B) 国、県との予算面での連携、重点的に取り組みについて
- C) プロジェクト事務局機能の在り方等について

(回答) プロジェクトの発端としては、長崎市の「陸の玄関口」である長崎駅周辺と「海の玄関口」である松ヶ枝周辺の整備計画が進み、まちの形が大きく変化していくことが見てきた時期に、「陸」・「海」の玄関口、「まちなか」の 3つの拠点が個々に魅力を高め、連携し、持続的な都市の発展につなげることにしたことが始まり。このことから、将来も長崎の歴史的な文化や伝統に培われた「まちなか」が、輝き続け、賑わうまちづくりを行うため、地域と市役所が一緒になってまちなかの方向性を考え始めた。プロジェクトの立ち上げの際は、地域が自ら考え、方向性を協議し、そのまちづくりに参加できる環境ときっかけづくりを進めた。プロジェクトの立ち上げから現在まででは、地域や企業などのまちづくりに関する事業に対して支援を行い、地域などと市役所が一つになって、まちづくり・賑わいづくりを行う運営を行っている。

プロジェクト自体の国、県からの支援措置はありませんが、各事業の支援として、都市構造再編集中支援事業、まちなみ環境整備事業、中心市街地活性化基本計画の中活ソフト等を活用している。市役所が中心となってプロジェクトを進めるのではなく、まちづくりを実際に行う地域の方や企業などを中心となり、まちなか事業推進室は地域を支える役割を担っている。

#### 所見：

1. 長崎市では歴史的な文化や伝統に培われた「まちなか」の賑わいの再生を図るため、5つのエリアに分けそれぞれのエリアの個性や魅力の顕在化を進めるための整備やソフト事業を市民などと連携して進めている。そのための「まちなか軸」を設定しているが、本市ではエリアの個性を活かしているが軸として連携できていない。エリアの魅力は地域・企業戦略を中心に行うべきだと感じた。ただ魅力発信の方向性は市役所と一体になって決めなければならない。  
まちづくりに参加できる環境ときっかけづくりを検討しなければならない。  
例として市政70周年記念をきっかけした未来に向けての活動は重要である。
2. プロジェクト立ち上げ、まちづくりを実施に行うのは地域・企業の考えを優先し、役所が中心となって進めるのではなく、まちづくりを実際に行う地域・企業が中心で行い、行政はその方向性を協議とそれを支える役割に徹するが重要と考える。

3. 国・県からの支援措置を期待するのではなく、スタートアップとして本市が積極的にかかわることが必要だと感じた。
4. 都市構造再編集中支援事業、まちなみ環境整備事業、中心市街地活性化基本計画の中活ソフト等の各事業の支援は、縦割りではなく横割りで行うことが必要である。
5. まちなかの回遊路の整備としてトイレ・休憩施設の充実を図るべきである。
6. 情報発信による人の誘導を積極的に考えなければならない。

## 研修会報告書【ミライ on 図書館について】

報告者：草津市議会会派草政会 伊吹達郎

### I 視察概要

1. 視察日時 令和6年1月18日（木）10時～11時30分
2. 視察先 大村市・ミライ on 図書館
3. 担当者 大村市立図書館長 堀江史佳、副館長 福田裕健、  
大村市歴史資料館長 今村明  
大村市議会議長 城幸太郎 議会事務局書記 法村俊弥
4. 視察項目 「ミライ on 図書館について」
5. 視察目的

長崎県大村市においては、令和元年に長崎県立図書館と大村市立図書館の役割を併せ持つ県立市立一体型図書館「ミライ on 図書館」をオープンされ、都道府県と市町村が共同運営する図書館は高知県のオーテピア高知図書館に次いで2例目で、大いに話題を呼んでいます。最新の図書館と併設する歴史資料館を視察し、40周年を迎えた草津市の図書館の在り方についても一度見直しを図るとともに図書館建て替えと歴史資料館の建設の際の参考としていくため。

### II 視察内容

ミライ on 図書館について

正式名称 長崎県立長崎図書館、大村市立図書館

愛称 ミライ on

建設費（面積按分） 工事費約7.6億円（長崎県約4.8億円大村市約2.8億円）

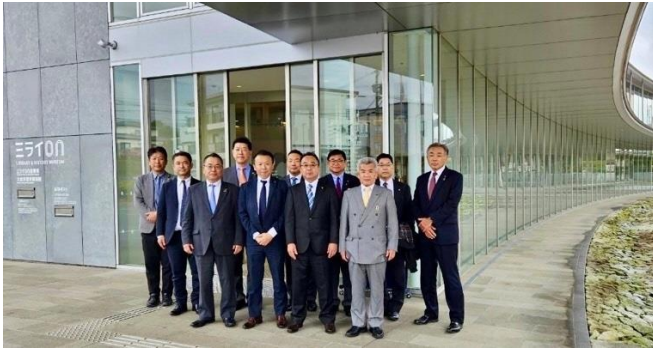
建築構造 鉄骨造6階建（高さ22.8m）

敷地面積 16,217.81 m<sup>2</sup> 建築面積 4,873.95 m<sup>2</sup> 延床面積 11,726.14 m<sup>2</sup>

駐車場 205台 駐輪場 約100台 駐車場料金 無料

収蔵能力 202万冊（九州最大規模）

座席 多目的ホール200席、こどもしつ101席、研修室76席、学習スペース104席  
グループ学習室24席、資料閲覧席231席、対面朗読室2席、資料閲覧席 116席



## 1. 大村市と長崎県が共同で図書館整備に至った理由

大村市と長崎県の図書館が 40~50 年経過し老朽化や狭隘化などにより新たな図書館の建設を計画する中で大村市が県立図書館の誘致活動を進めた。その中で次の要因などで大村市に誘致が出来た。

- ① 大村市が長崎県のほぼ中心に位置し、高速道路、空港、電車（新幹線）などの交通の要衝であり、離島が多い長崎県では県内市町図書館の支援が行いやすいこと
- ② 昭和 45 年から人口が増加し続けていて発展しているまちであること
- ③ 大村駅前の広大な土地を無償提供したこと

## 2. 効果と課題

<効果>

- ① 費用抑制で市単独では整備できない規模能力を有する施設を市民が活用できる蔵書冊数増加（20 万→200 万冊）新聞雑誌充実（新聞 7→63 種 雑誌 72→542 種）
- ② 縣市それぞれの役割と機能の充実、連携により図書館サービスの向上  
読書学習スペースの充実（延床面積は約 10 倍に、500 席を超える閲覧席）  
空調照明などの自動制御管理（BEL ZEB Ready 国内公共図書館初受賞など）  
新しいサービス k¥ 提供、既存サービスの充実（遠隔地返却サービスなど）
- ③ 九州最大規模・縣市一体型図書館による知名度向上、交流人口の増加
- ④ 中心市街地の賑わい創出

<課題>

- ① 縣市の職員の一体感の維持・醸成
- ② 図書館運営を担う司書職員の育成
- ③ ICT 化、DX の推進
- ④ まちづくりへの貢献

## 3. 電子書籍サービス・アプリの導入経緯と運営状況など

コロナ禍や読書バリアフリーの取組の一環として昨年 2 月から導入

- ・電子書籍 2,616 コンテンツ 18,365 アクセス
- ・アプリ 4,273 ダウンロード（マイナカード利用登録、利用者番号バーコード表示）

## 4. 学習スペース・グループ学習室について

学習スペースは学生に限らず大人も利用しています。特に試験前は中高生が多く利用  
グループ学習室は2人以上の利用で月平均140件430人ほど利用

#### 5. 来館者の評価や変化について

来館者は令和4年度で36万6千人と市内外から非常に多くの人に利用されている。また貸室も約200件7千人の個人や団体がイベントや講演会などに活用されている。

#### 6. 大村市歴史資料館との併設について

<効果>

- ① 交通の便利な場所であるため、気軽に立ち寄ってもらえる
- ② 図書館に集客力があり、同一施設であることで、図書館の利用者からの来館者増に繋がっている。
- ③ 同じ学び場となる社会教育施設であり、図書館と歴史資料館が協力してリファレンスに対応できる

<課題>.

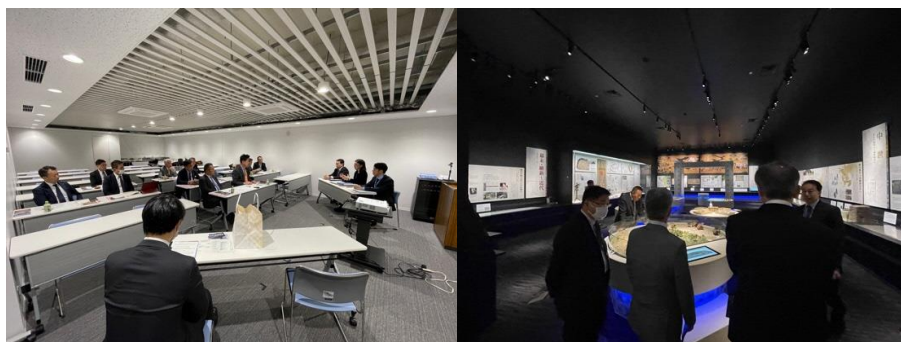
- ① 複合施設の一般的な課題としてのスケジュールの調整がある
- ② バスなどの大型車両の入場には事前の調整が必要

### III 視察研修を終えて（感想）

JR大村駅から徒歩3分という絶好に立地にあった市民会館などの大村市の公共施設を潰してその広大な市有地に県立図書館を誘致し、市立図書館と歴史資料館を併設した巨大公共施設で、まず見ただけでデザインなどに圧倒されました。建物そのものも名前通り、近未来を感じさせる「ひとつ屋根に包まれた湾型段状図書館」で県産の杉材石材をはじめとする地産地消建材の活用と大屋根による高断熱化と自然光の導入および雨水集水や空調照明のアレクサセンサー制御ゾーニングなどのエネルギー削減に徹底した建築時術にも改めて感服しました。レストランも併設されており、やはり文化施設、社会教育施設はデザインやその建物自体のコンセプトも大切なことを痛感しました。その評価としてグッドデザイン賞やBCS賞、SDGs建築賞、カーボンニュートラル賞など受賞されています。規模が違うとはいえ、草津市の図書館建替えや歴史資料館の建設の際には参考にすべき点だと考えます。また、図書館の運営については、本や司書のための図書館ではなく、まずは、利用者本位のゆっくり座って、お茶を飲みながら、本や雑誌を楽しめる、学習スペースも十分にありこと。そして、これからの図書館の位置付けは重要で、常に最先端の情報が入ってくるような新しいサービスが提供できる、そんなワクワクする空間になればと思います。



IV 研修資料 別添の通り



## 研修会報告書【福岡市・公共交通システムについて】

報告者：草津市議会会派 草政会 小野元嗣

1. 視察日時 令和6年1月19日（金）10時～11時30分
2. 視察先 福岡市役所
3. 担当者 福岡市住宅局都市創生部年交通課 川原大輝様、藤岡昌弘様  
福岡市福祉局高齢社会部高齢福祉課 安川しおり様
4. 視察項目 「公共交通システムにおける高齢者及び福祉事業について」
5. 視察先 福岡市の概要

福岡市（ふくおかし）は、福岡県西部に位置する市。福岡県の県庁所在地であり、政令指定都市である。九州地方の行政・経済・交通の中心地として同地方最多の人口を有する。東京23区を除いた全国の市でも横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市に次ぐ5番目の人口（約163万人）を擁し、人口増加率は政令指定都市の中で首位である（2020年国勢調査）。博多湾に面するこの地域は古来から博多（はかた）として認識されており、大陸方面への玄関口として利用されてきた。中世に商人による自治都市が形成され、戦乱で度々焼き払われながらも、豊かな町人文化を育んだ。豊臣秀吉の手で復興されたのち、黒田氏が福岡城とその城下町を築いたことで、那珂川を境に西が城下町としての「福岡」、東が中世からの商人町・商業都市としての「博多」となった。その後、江戸時代から明治時代初頭にかけて、福岡と博多は共存していたが、1876年に福岡と博多は1つの都市へと統合されて「福博（ふくはく）」となり、その後、「福岡」と改称された。九州地方の行政・経済・交通の中心地であり同地方最大の人口を有し、西日本（関西以西）においても大阪市に次ぐ人口を擁する都市である。同市を中心として福岡都市圏を形成している。北九州市（北九州都市圏）とともに形成する北九州・福岡大都市圏は都市単位の経済規模において日本の四大都市圏に数えられる。市内総生産は特別区部である東京23区を除けば、大阪市、横浜市、名古屋市に次いで国内4位であり、福岡市は三大都市圏に次ぐ高い経済力を持った都市である。東京や大阪に本社を置く大企業が九州地方を統括する支店・支社が多数立地しており、典型的な支店経済都市である。札幌市・仙台市・広島市とともに「札幌仙広福」と呼ばれる地方中枢都市としての役割を担っている。また、グローバル創業・雇用創出特区として、北九州市とともに国家戦略特別区域に指定されている。福岡市で開催される国際会議数は、東京に次いで国内2位であり、北九州市とともに国際会議観光都市にも指定されている。また、九州大学を筆頭に、14の大学や9の短期大学が立地する全国有数の「学生の街」であり、人口に占める学生の割合は政令指定都市の中では京都市に次ぐ第2位である。

## 高齢者乗車券交付事業について

(令和5年度高齢者乗車券の助成期間は令和5年10月1日から令和6年9月30日)

### ・概要

福岡市は、高齢者の社会参加を促進するため、交通費の一部を助成する高齢者乗車券を交付されています。

令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、市民の皆様の利便性向上のため、郵送・オンラインでの申請受付や郵送交付を実施。さらに令和3年度からは、令和2年度以降に交付を受けた交通用福祉ICカードをお持ちの人で、ICカードを希望する場合は、ご自身でポイントチャージしてご利用いただく方法を導入され、高齢者乗車券の交付を受けるには、毎年申請が必要。

### ・対象者について

次のどちらにも該当する人に年1回交付。

- 1) 福岡市に居住し、かつ、住民登録をしている満70歳以上の人
- 2) 令和5年度福岡市介護保険料所得段階区分が1～7の人

ただし、身体障害者手帳1～3級・療育手帳A・精神障害者保健福祉手帳1級・戦

傷病者手帳・被爆者健康手帳のいずれかをお持ちの方は、福祉乗車券が交付されるので、高齢者乗車券の交付対象者になりません。

※70歳の誕生日前日から申請ができます。

※介護保険料所得段階は7月14日以降、福岡市から送付する「介護保険料徴収通知書」を参照。

※令和5年1月2日以降に市外から転入した人は、前住所地の所得証明書が必要な場合があります。詳細は「お問合せ」の郵送受付センターに連絡。

#### ・ 交付額について

申請月と令和5年度の所得段階によって異なります。

#### ・ 乗車券の種類について

次の中から、希望の1種類を選べます。※(1)～(6)の有効期限は令和6年9月

30日まで

- (1) タクシー助成券  
1回の乗車につき1枚(500円)使用可能。
  - (2) 今宿姪浜線乗合バスなぎさ号回数乗車券
  - (3) 福岡市営渡船乗船引換券
  - (4) 早良区大字西地区乗合タクシー回数乗車券
  - (5) 曲淵線乗合タクシー回数乗車券
  - (6) オンデマンド交通チョイソコふくおか乗車券  
東区、南区、中央区、城南区の一部で運行されています。運行は高齢者乗車券の有効期限前に終了する可能性があります。
  - (7) 交通用福祉ICカード  
市地下鉄、JR、西鉄電車・バス、昭和バス、JR九州バスなど、交通系ICカード全国相互サービス対象路線で利用できます。  
(一部利用できない駅があり)
- 

## 令和5年度福祉タクシー料金助成事業について

---

(令和5年3月31日から、令和5年度福祉タクシー利用券を交付。)

有効期間：令和5年3月31日～令和6年3月31日

※期限切れ使用不可

### ・ 交付対象者

福岡市内に居住(住民票上の住所ではなく、実際に福岡市内にお住まいの方)者

◆対象者が18歳以上の場合は、対象者及び配偶者がともに市民税非課税かつ次のいずれかに該当する在宅の方

◆対象者が18歳未満の場合は、保護者の属する住民基本台帳上の世帯員すべてが市民税非課税かつ次のいずれかに該当する在宅の方

- 1. 視覚障がい 1級または2級
  - 2. 下肢、体幹機能障がい、または乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい(移動機能障がいに限る) 1級または2級
  - 3. 内部障がい 1級または2級
  - 4. 視覚障がい、肢体不自由(上肢、下肢、体幹機能障がい)、内部障がい(重複して総合2級以上で、かつ下肢または体幹機能障がい3級)
-

- 5. 療育手帳 A
  - 6. 精神障害者保健福祉手帳 1 級
- 

※施設に入所している方及び入院中の方は対象外です。

## ・助成内容

### ◆一般車タクシー

定額 500 円の利用券を、年間最大 55 枚交付します。

なお、電動車いす常時使用者（体幹保持部品等を付属した座位保持装置等を含む）

には、ワゴン型タクシー（電動車いすのまま乗車可能）を利用できるタクシー券を交付します。

※申請月によって、交付枚数は異なります。

※リフト付きワゴン型タクシー

2340円券：年間24枚（6枚/3か月）初乗り料金年間48枚

## 課題

- ・大都市である福岡市でもバスやタクシーなどの運転者不足が深刻な問題である
- ・今後、高齢化社会に向けた市民のきめ細かな移動手段対策
- ・公共交通のゼロカーボン対策
- ・公共交通の IC カードの普及

## 6 視察研修を終えて

福岡市の地域公共交通は、市街から中心市街地へ、そして市内循環など運行されている。特に今回の視察研修では、公共交通機関の高齢者及び障害者支援対策の現状調査を実施。停留所から市中心部や役所、駅、病院などの主な公共施設への移動手段に対するバス、タクシーの利用について福祉的な観点からの事業立案がより一層重要と再認識した。今後の草津市において高齢化が進む中、地域の交通困難者のための運行や、停留所までの歩行困難者の利便性向上のための福祉支援としての事業も必要である。尚、草津市は現在人口増加中で、特にベビーカーや車いす利用者も増えており交通公共機関を気兼ねなく利用できる環境整備も急務である。